

白布ヶ丘だより

11月

…学校と家庭・地域の架け橋…

発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1
TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

10月は「創立110周年記念式典」や「第2学年修学旅行」など大きな行事が続きましたが、おかげさまで無事終了することができました。さて、新型インフルエンザ関連のニュースが連日ながれています。幸い本校では、今のところ学級閉鎖を考えなければならないほどではありませんが、油断することなく対応に努めています。しかし、寒暖の差が大きく体調を崩しやすい時期でもあります。生徒の欠席・遅刻もやや増えているように思われます。特に3年生は深夜までの受験勉強で疲労が蓄積しているため、風邪を引きやすい季節でもあります。体調管理には十分注意をしてほしいと思います。

創立110周年記念式典を挙行

本校は明治33年(1900年)に栃木県第三中学校として開校した。その後、栃木県立真岡中学校、栃木県立真岡高等学校などの改称を経て現在の栃木県立真岡高等学校に至っている。これまでに23,524名の卒業生を世に送り出し、県内屈指の名門校としての地位を築いている。

10月20日(火)の10時より、本校講堂にて、栃木県教育委員会委員河野遵様、栃木県議会文教警察委員会委員長岩崎信様はじめ143名の来賓をお迎えして、創立110周年記念式典が盛大に挙行された。



式辞の中で上岡健校長は、「一年を思う者は花を育てよ。十年を思う者は木を育てよ。百年を思う者は人を育てよ。この言葉のように、本校の百十年の重さを全身で感じつつ、百十年間で築き上げてきたものを受け継いでいく覚悟を新たにしています」と決意を述べ、在校生に「大先輩たちにならって、自己を大きく伸ばしつつ、日本を思い、世界の平和と繁栄に貢献できるような人間になってほしい」と呼びかけた。

また、式典の中で、特別功労者、功労者、親子三代等の表彰や感謝状の贈呈も行われた。日下田實同窓会長や田村稔PTA会長、上岡健校長から、そ



れぞれの代表に記念品と共に表彰状・感謝状が授与された。特に、親子三代表彰は54組と他に類のない多さであった。最後には、応援団によるエールが送られ、男子校のしめくくりであった。



式典の後、午後2時より映画監督小栗康平氏による「映画を学ぶ」と題した記念講演が行われた。前日の19日には小栗康平氏のデビュー作「泥の河」の映画鑑賞会が行われたが、35mm映写機による本格的な映画に生徒達からは感動の声があふれた。講演では「映像がある今日も、目を養い」という小栗氏の話に、生徒達は熱心に聞き入っていた。



また、創立110周年記念事業として10月30日(金)に武蔵野音楽大学管弦楽団による演奏会が真岡市民会館で実施された。当日は、全定両課程の生徒の他、保護者や来賓など多数のご出席を頂いた。



10月16日(金)には学問の木の名のあるカイノキの記念植樹が同窓会長、生徒会会長、校長の三者によって、至誠の碑の隣で行われた。



11月行事予定

- 1 日 (日) 将棋部・関東大会予選
吹奏楽部・真女・真北陵合同練習会
- 2 日 (月) 科目類型選択調査(1・2年)
- 3 日 (火) 文化の日、バドミントン県新人戦
- 4 日 (水) 第4回校内模試(～5日)
- 5 日 (木) 福祉講演会
バドミントン県新人戦(ダブルス)
- 7 日 (土) ベネッセ・駿台マーク模試(希望者)
バドミントン県新人戦(団体)
空手道県新人戦(～8日)
柔道新県人戦(～8日)
- 8 日 (日) 真岡市音楽祭(真岡市民会館)
近県ソフトテニス大会(栃木市)
- 11 日 (水) 駅伝大会事前健康診断
- 12 日 (木) 小論文テスト
卓球部県新人戦(～14日)
- 13 日 (金) 面接強化期間(～27日)
- 14 日 (土) サタデーセミナー、課外
とちぎ教育振興大会(宇都宮市文化会館)
桜川市体協長杯ソフトテニス大会
- 15 日 (日) **校内駅伝大会**
※小雨決行
ソフトテニス県総合選手権大会
- 16 日 (月) 振替休日
- 19 日 (木) 消費者生活問題被害防止講話
- 20 日 (金) 創立110周年記念事業実行委員会
- 21 日 (土) バレーボール中部支部秋季大会(～22日)
全日本U-20選考会
第4回ソフトテニスジュニアジャパンカップ
(～24日、高崎市)
- 23 日 (月) 勤労感謝の日
- 26 日 (木) 月曜日の授業
- 30 日 (月) 期末テスト(～12月3日)

「栄光の碑」記念プレート除幕式が行われました

10月30日(金)、栄光の碑記念プレート除幕式が、定時制生徒の出席で行われました。これは定時制課程3年次の高橋大君が、第44回全国定時制通信制陸上競技大会3000m障害で優勝したことを記念して行われたものです。

栄光の碑は平成元年度、本校が「全日本学校環境緑化コンクール最優秀賞」を受賞したことを記念して建立されました。昭和40年以降日本一になった個人または団体の成果をブロンズ製のプレートに銘記し、長く栄光を讃えるもので、高橋大君のプレートで14人目となりました。



《栄光の記録の碑の前であいさつをする高橋大君》

2 学年修学旅行

10月6日(火)～9日(金)の3泊4日で、広島・大阪・京都方面の修学旅行が実施されました。途中台風18号の通過もありましたが、幸い京都のホテルでの就寝中のできごとで、直接の被害はありませんでした。行動中の天候にも概ね恵まれ、無事終了することができました。

生徒の修学旅行に参加しての作文を紹介します。

私の、高校最大の思い出になりうるかもしれない今回の修学旅行の中で、特に心に残っていることは二つあります。それは、一日目の被爆者講話と四日目のクラス別行動です。

まず、一日目の被爆者講話についてお話しします。四歳の時に被爆したという大越さんの話で、原子爆弾の恐ろしさとその震撼する破壊力、また周囲の人々に与える影響をリアルに知ることができました。その中で、「今でも苦しんでいる人がいる」という話を聞き、すごくつらく悲しい気分になりました。この被爆者講話は、自分が本を読むことで身につけていた浅はかな知識に、原子爆弾の本当の恐ろしさというものを教えてくれました。今、北朝鮮までが核を作り世界が核の恐怖にさらされています。日本は唯一の被爆国として二度と広島・長崎のようなことがあってはならず、自分のできることをしていこうと深く胸に刻みました。

次に、四日目のクラス別活動について話します。クラス別活動では、まず最初の八つ橋作りをしました。実際にやってみた感想として、自分の中の想像より難しく、完成までの時間が短く、形はともかくうまくいったのです。このような機会はもうないと思うと、非常に貴重な体験でした。クラスのみんなも楽しそうに満足していました。次に、蓮華王院いわゆる三十三間堂に行きました。仏像がたくさん並んでいる姿は、本当に圧巻でした。後白河法皇による権力の象徴ともいふべきこの建物を中学生の時から楽しみにしていたので、今回来ることができ感動しました。最後に、昼食は東山にあるホテルで取りました。バイキング形式でみんなテンションが高く、料理も旨く、争って食べ楽しいひとときを過ごしました。クラス活動を通して、クラスの人と友情を深めることができたと思います。

修学旅行で私は、多くのことを学ぶことができました。このことは、よい思い出になりましたし、これからの大きな財産になったと思います。

～校内駅伝大会～

11月15日(日)、伝統の校内駅伝大会が実施されます。この大会は、昭和39年の東京オリンピックの開催を記念して始められ、今年で第46回目となります。

本校をスタートして真岡市、旧二宮町、益子町を走る全長48.9kmのコースを21区間に分け、クラス代表生徒21人が走ります。

毎年、地域の皆様をはじめ、保護者や警察署等多くの方々のご協力やご理解等を頂きながら実施しております。今年もご協力、沿道での応援などよろしくお願いしたいと思います。

なお、今年と同じ日に真岡市と二宮町の合併記念の駅伝大会が行われ、一部のコースが本校のコースと交差しています。よって混乱を避けるため、スタート時間は例年より30分繰り上げ8時30分、ゴールは11時30分の予定です。また、小雨決行の予定ですが、実施の有無は本校のホームページ(<http://web2.tochigi-edu.ed.jp/moka/nc2/>)でお知らせいたします。